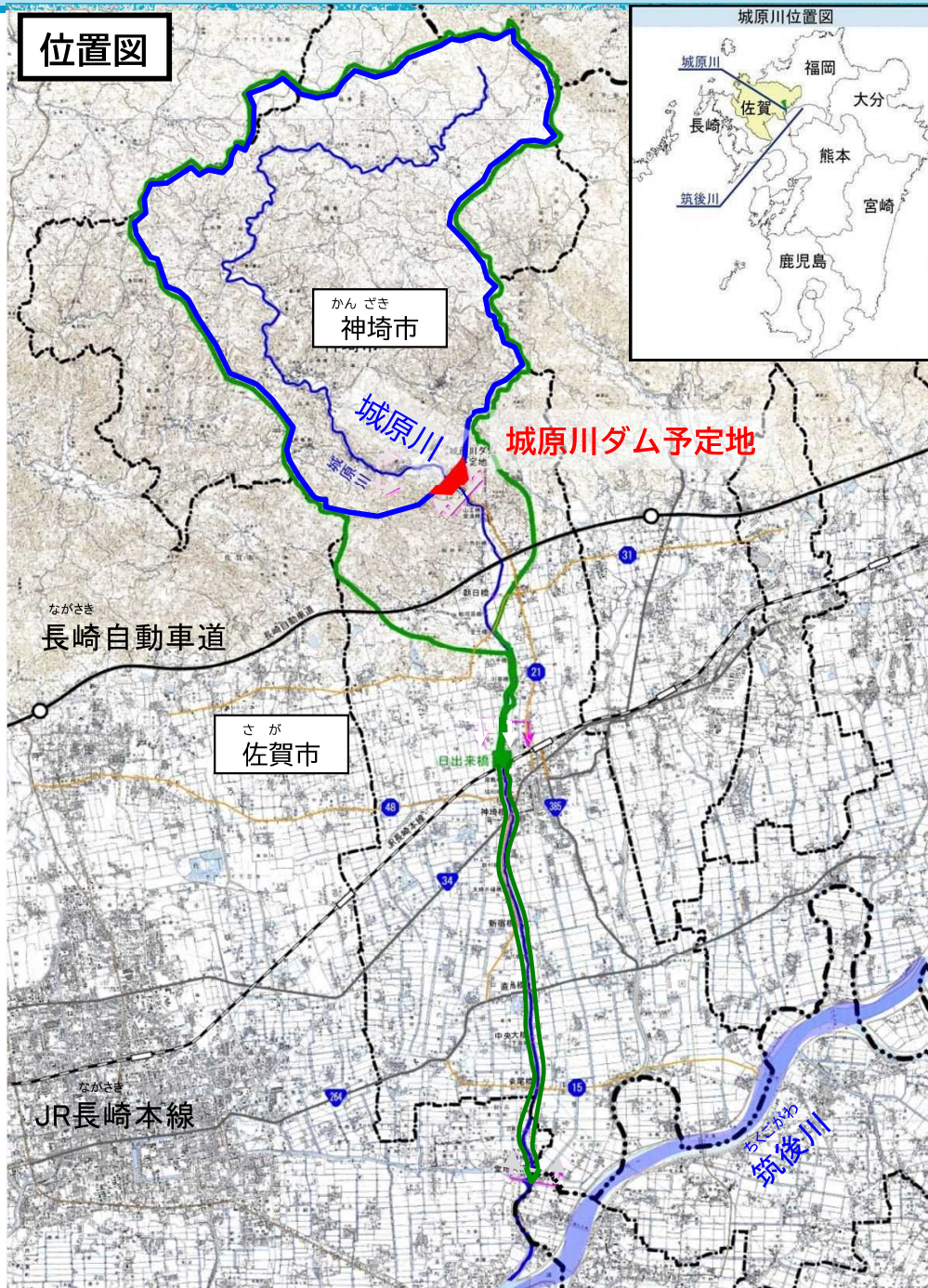


# 城原川ダム建設事業 事業説明

令和5年10月23日

# 1. 城原川ダム建設事業の概要



## ○場 所

佐賀県神崎市(筑後川水系城原川)

集水面積 約42.5km<sup>2</sup>

## ○目 的

城原川の日出来橋地点において、河川整備基本方針に対応した流量690m<sup>3</sup>/sのうち城原川ダムにより360m<sup>3</sup>/sの流量低減を図ります

## ○諸 元

重力式コンクリートダム

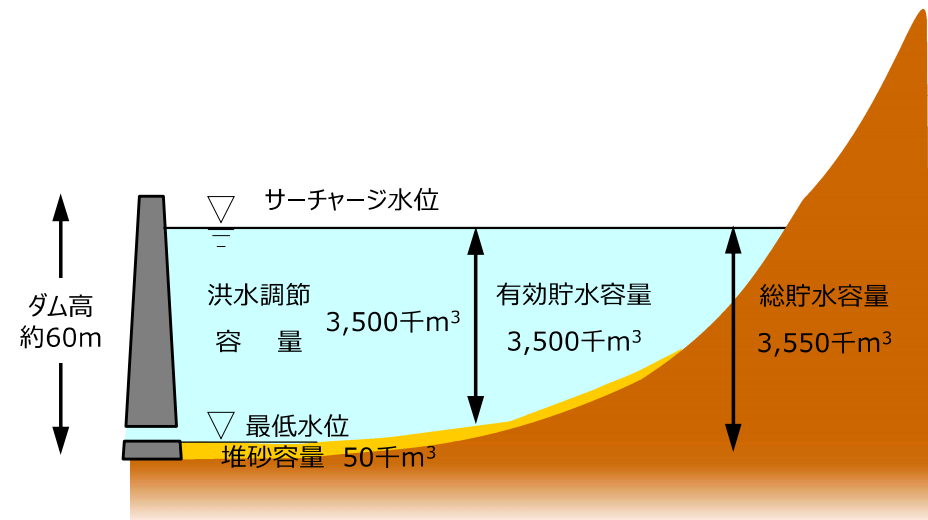
高さ約60m, 総貯水容量約355万m<sup>3</sup>

## ○工 期

昭和54年度～令和12年度

## ○総事業費

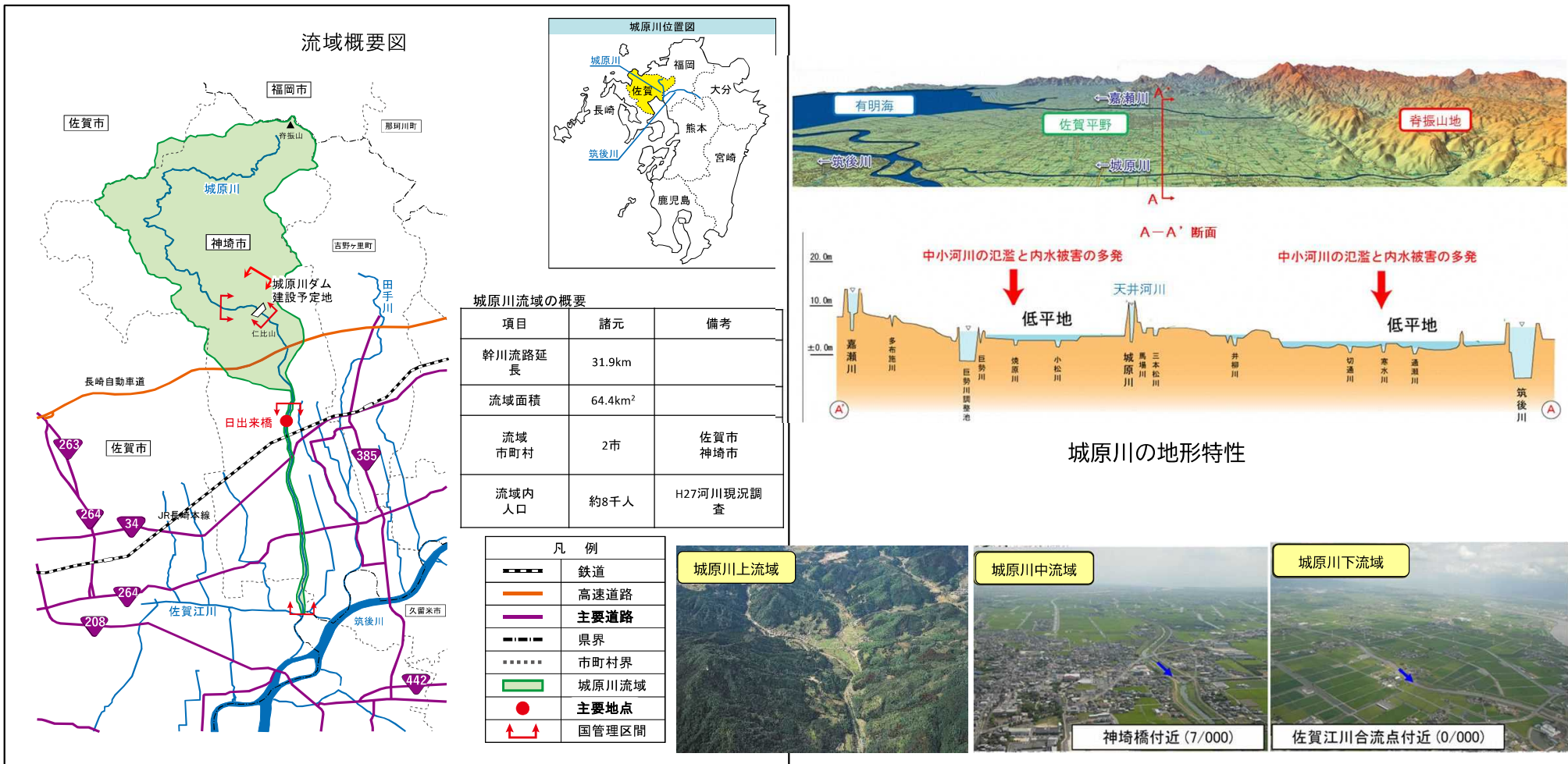
約 485 億円



城原川ダム貯水池容量配分

# 1. 城原川ダム建設事業の概要II(城原川流域の概要)

- ・城原川は、その源を佐賀県神埼市の脊振山に発し、途中支川を合わせながら山間部を流下し、仁比山付近より扇状地形を形成して平野部の神埼市街地を南下し、筑後川右支川の佐賀江川の2.0km地点に合流している幹川流路延長31.9km、流域面積64.4km<sup>2</sup>の河川である。
- ・城原川の集水域のほとんどは山地であり、山地に降った雨を河口まで流す「雨どい」のような河川であるとともに天井川であるため、堤防が決壊すると重大な災害を引き起こす危険性がある。



# 1. 城原川ダム建設事業の概要Ⅲ(過去の主な洪水被害)

・城原川流域では、昭和28年6月洪水において甚大な被害が発生し、特に近年平成21年7月、平成22年7月、令和5年7月は計画高水位 (H=4.51m) を上回り、日出来橋地点の流量が河道の整備目標流量 (330m<sup>3</sup>/s) を超過したと推定され、**野越し※**から越流する洪水が発生した。

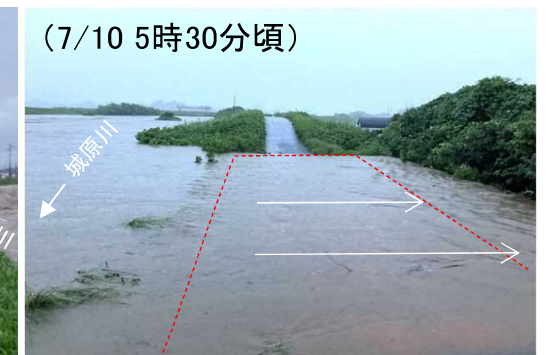
※ 上流部には歴史的な治水施設として堤防の一部が低い箇所が存在している。野越しには、あふれた洪水の勢いを弱め、拡散しないように水害防備林や受堤が設けられていたが、現在は周辺の宅地化や圃場整備により、受堤等の一部が撤去されたことから、野越しからあふれる洪水により周辺家屋への浸水被害が懸念されている。

## ◆過去の主な洪水

洪水年月日	異常気象名 (生起要因)	被害状況			洪水の概要
		床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	農地被害 (ha)	
S24. 8. 16 ~8. 18	台風	9, 121	14, 273	11, 354	雨は小城を中心として佐賀県全域に降った (防災誌)
S28. 6. 25 ~6. 28	梅雨前線	14, 597	14, 920	13, 318	古湯、三瀬等の山間部では900mm、平地部では500mm~600mmの雨が降った (防災誌)
S47. 6. 6 ~7. 23	断続した豪雨並びに 台風6, 7号及び台風9号	54	2, 088	1, 375	脊振山系及び筑後川下流域で大雨が降ったため、脊振山系に水源を持つ河川では水位の上昇が著しかった (国交省資料)
S57. 7. 5 ~8. 3	豪雨及び、台風10号	2	71	291	脊振山系に雨が多く、短時間に集中して降った (国交省資料)
S60. 5. 27 ~7. 24	豪雨及び、台風6号	0	13	654	梅雨前線の停滞により断続的に強い雨が降った (国交省資料)
H2. 6. 2 ~7. 22	豪雨 (梅雨)	1	362	5, 430	佐賀南部で雨が多く、水位の上昇が激しかった (国交省資料)
H21. 7. 26	梅雨前線 (中国・九州北部豪雨)	0	36	946	7. 24~26 (3日間) の総降雨量は、500mm超、日出来橋観測所では、計画高水位を超過し、野越し5箇所から越流した (国交省資料)
H22. 7. 10 ~7. 15	梅雨前線	0	3	237	神崎市伊福観測所で総降雨量約700mm、日出来橋観測所では、計画高水位を超過し、野越し4箇所から越流した (国交省資料)
R3. 8. 11 ~8. 15	豪雨	6	45	1, 003	神崎市伊福観測所で総降雨量約1, 010mm、日出来橋観測所では、はん濫危険水位を超過した (国交省資料)
R5. 7. 7 ~7. 10	梅雨前線	3	51	—	神崎市伊福観測所で総降雨量約590mm、日出来橋観測所では、計画高水位を超過し、野越し9箇所から越流した (国交省資料)



令和5年7月洪水  
4号野越しからの越水状況



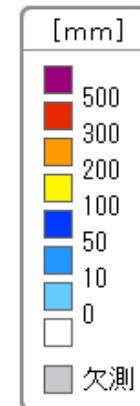
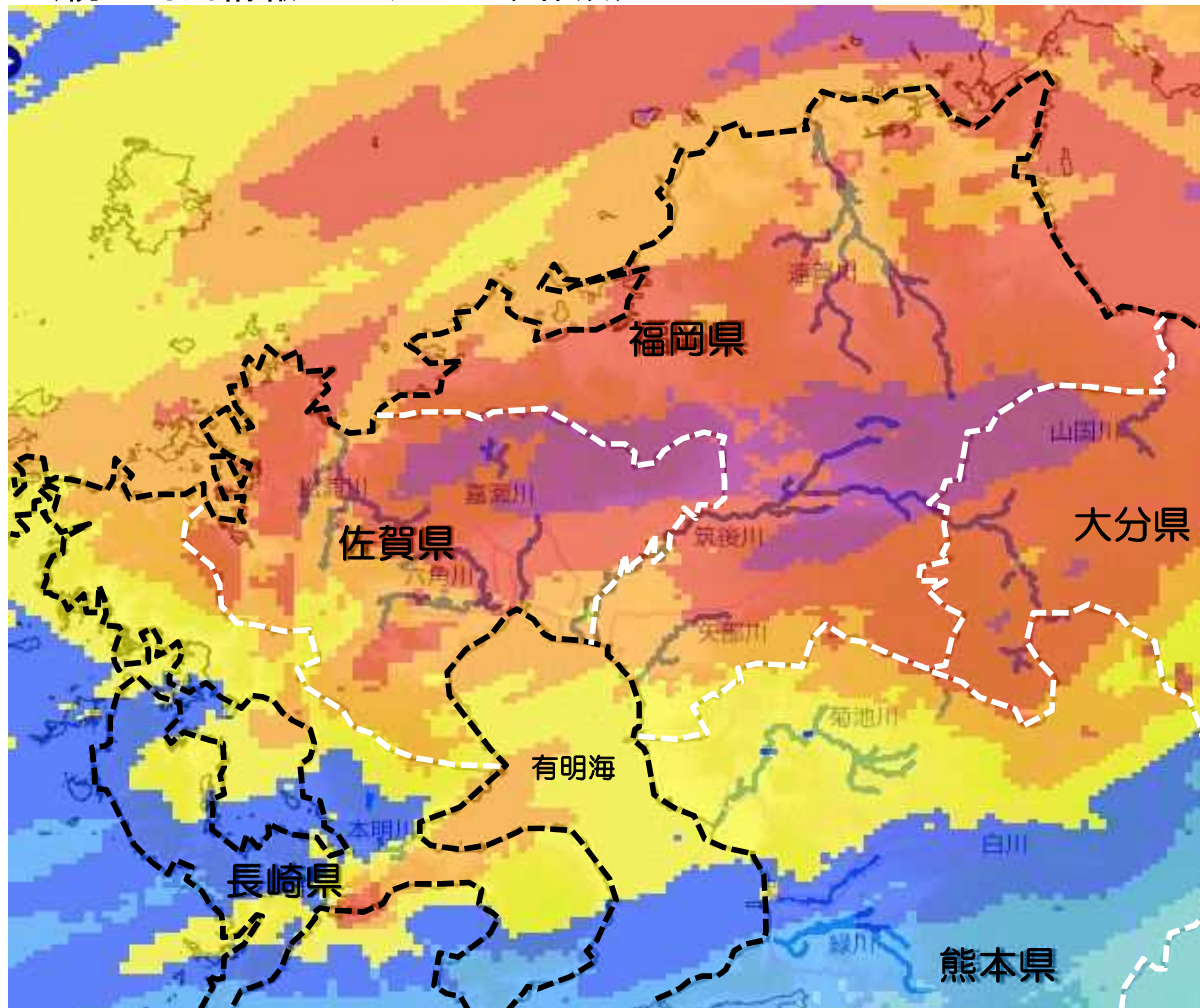
令和5年7月洪水  
8号野越しからの越水状況

(出典)  
S24~S28年の被害データは「佐賀県防災誌」における佐賀市、佐賀郡、神埼郡の被害データ  
S47~H2年の被害データは「水害統計(国土交通省河川局)」の城原川・田手川・馬場川・三本松川・中地江川の被害データ  
H21、R3の被害データは、神崎市報及び市役所の聞き取り  
H22の被害データは「佐賀県ホームページ」における神崎市の被害データ  
R5の被害データは神崎市調への被害データ  
※浸水被害状況については、城原川周辺の河川による被害も含んでいるものとなっています。

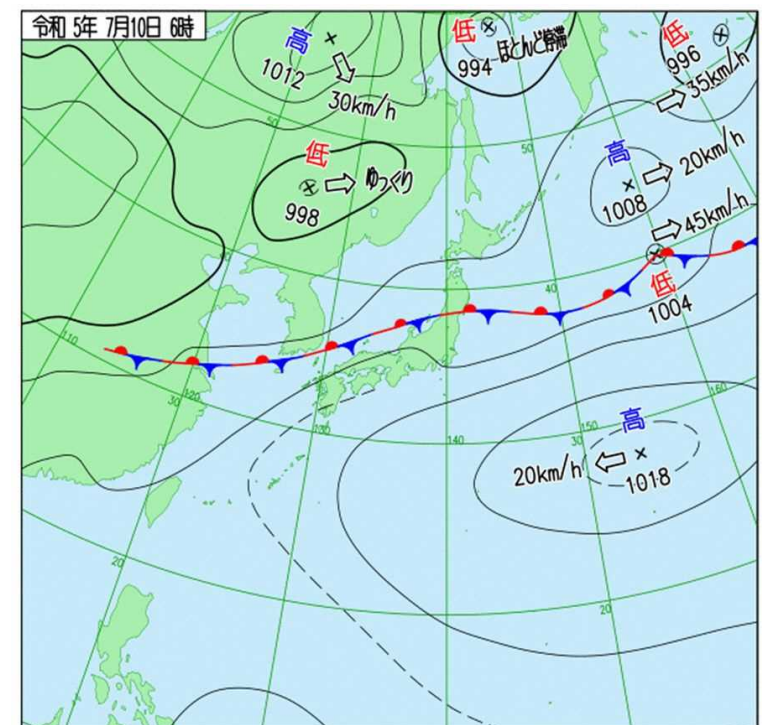
## 2. 令和5年7月洪水 気象の概要（九州北部地方）

○ 7月7日(金)明け方から、梅雨前線の活発な活動により、九州北部地方の広範囲に強い雨域がかかり、**佐賀県、福岡県、大分県を中心に大雨**となりました。

7月7日 9時00分～7月10日 18時00分 累積レーダ雨量  
(統一河川情報システムより作成)



天気図（7月10日6時頃、気象庁HPより）



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

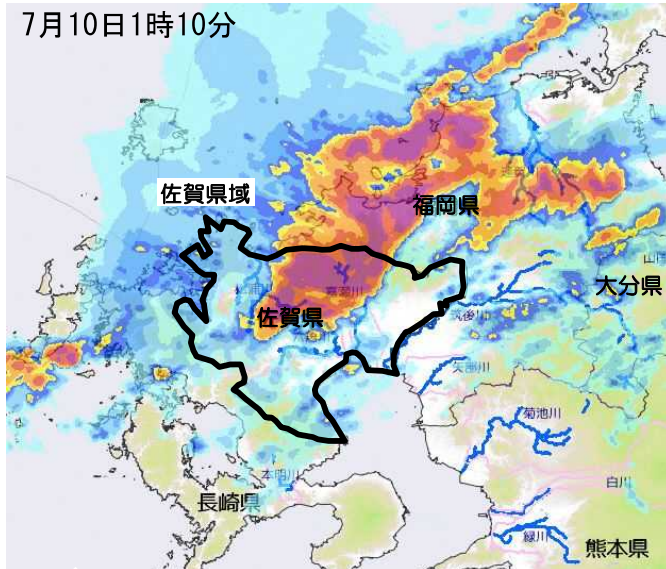
## 2. 令和5年7月洪水 気象の概要（九州北部地方）

○ 7月9日(日)12時から10日(月)15時にかけて、梅雨前線が対馬海峡付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、九州地方では大気の状態が非常に不安定となりました。

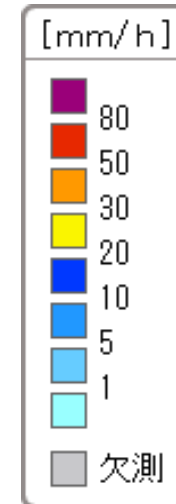
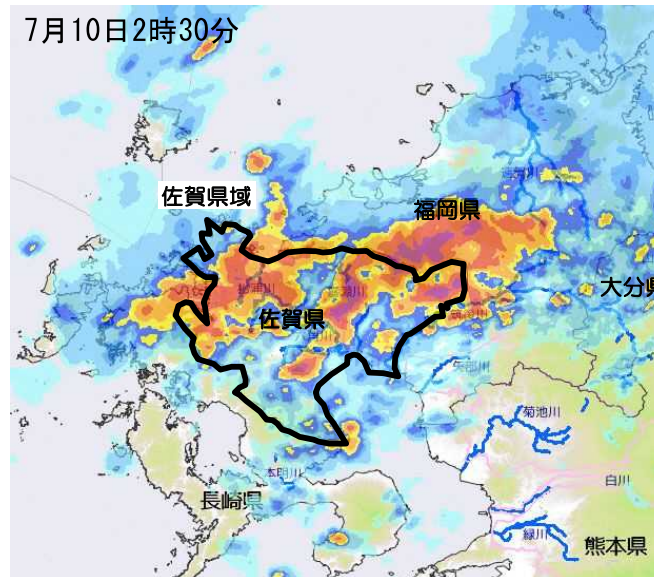
○ 佐賀県・福岡県・大分県で、線状降水帯が7月10日3時9分～8時30分の間に計8回※発生しました。 ※気象庁発表

(統一河川情報システムより作成)

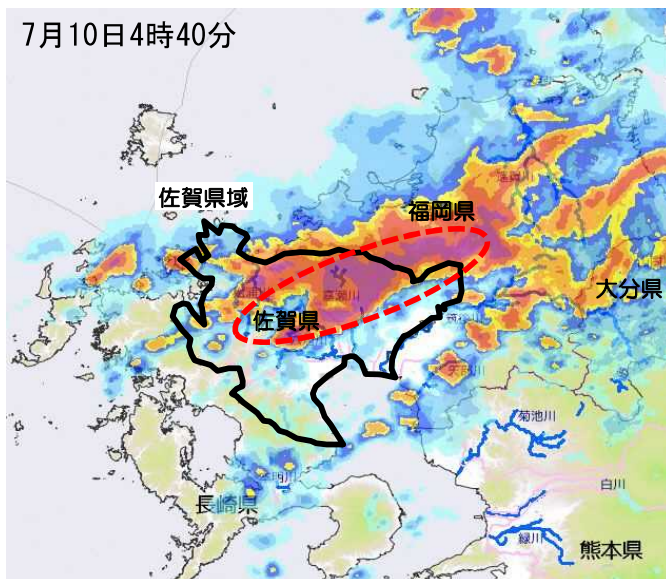
7月10日1時10分



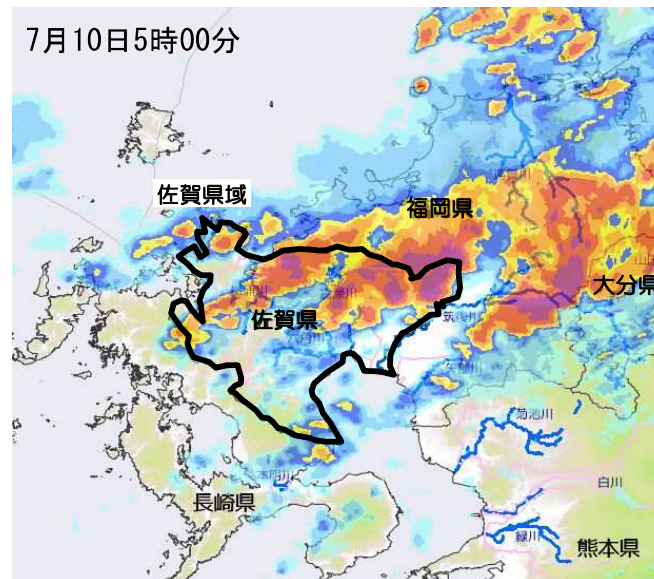
7月10日2時30分



7月10日4時40分



7月10日5時00分

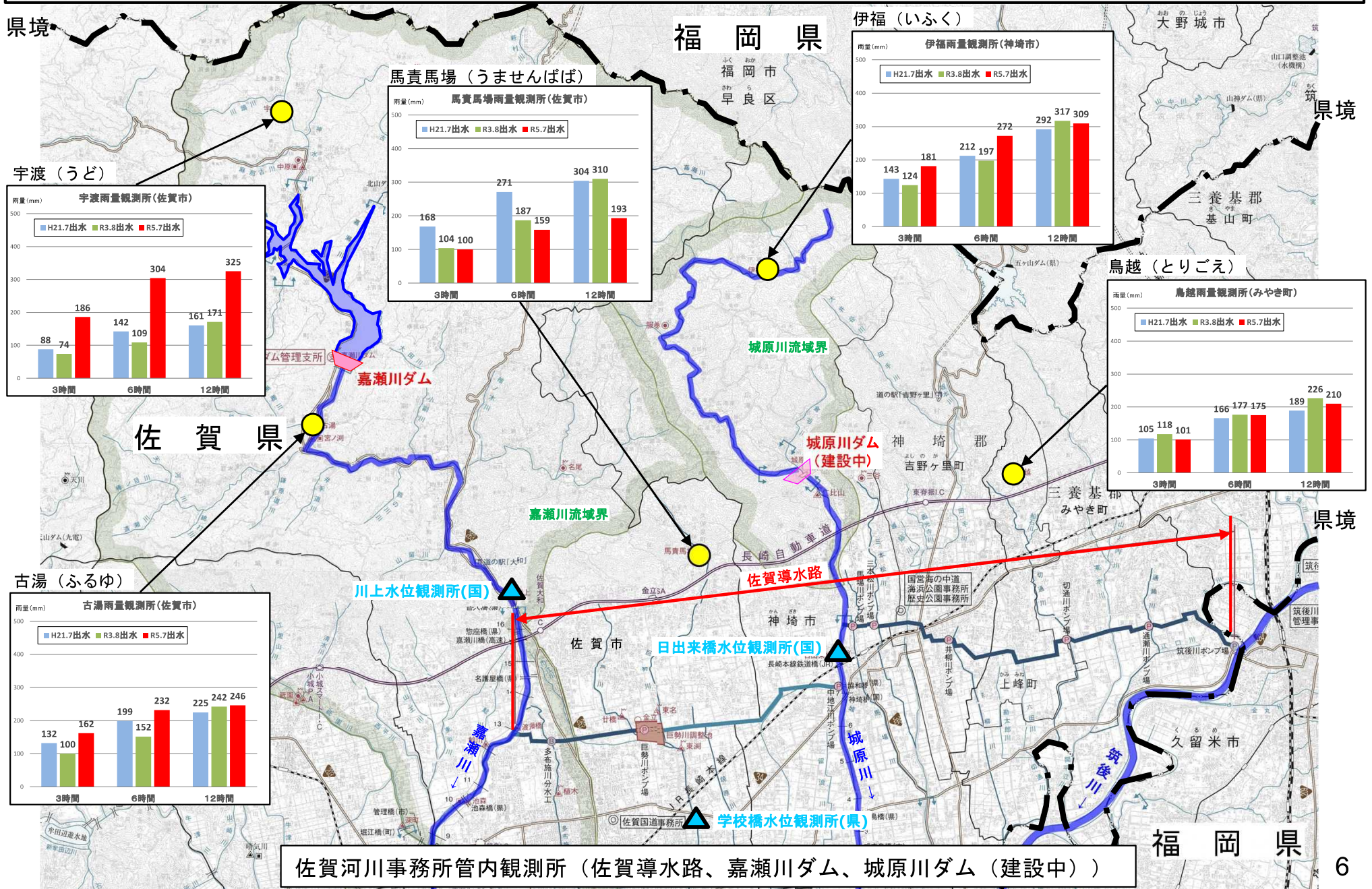


大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域

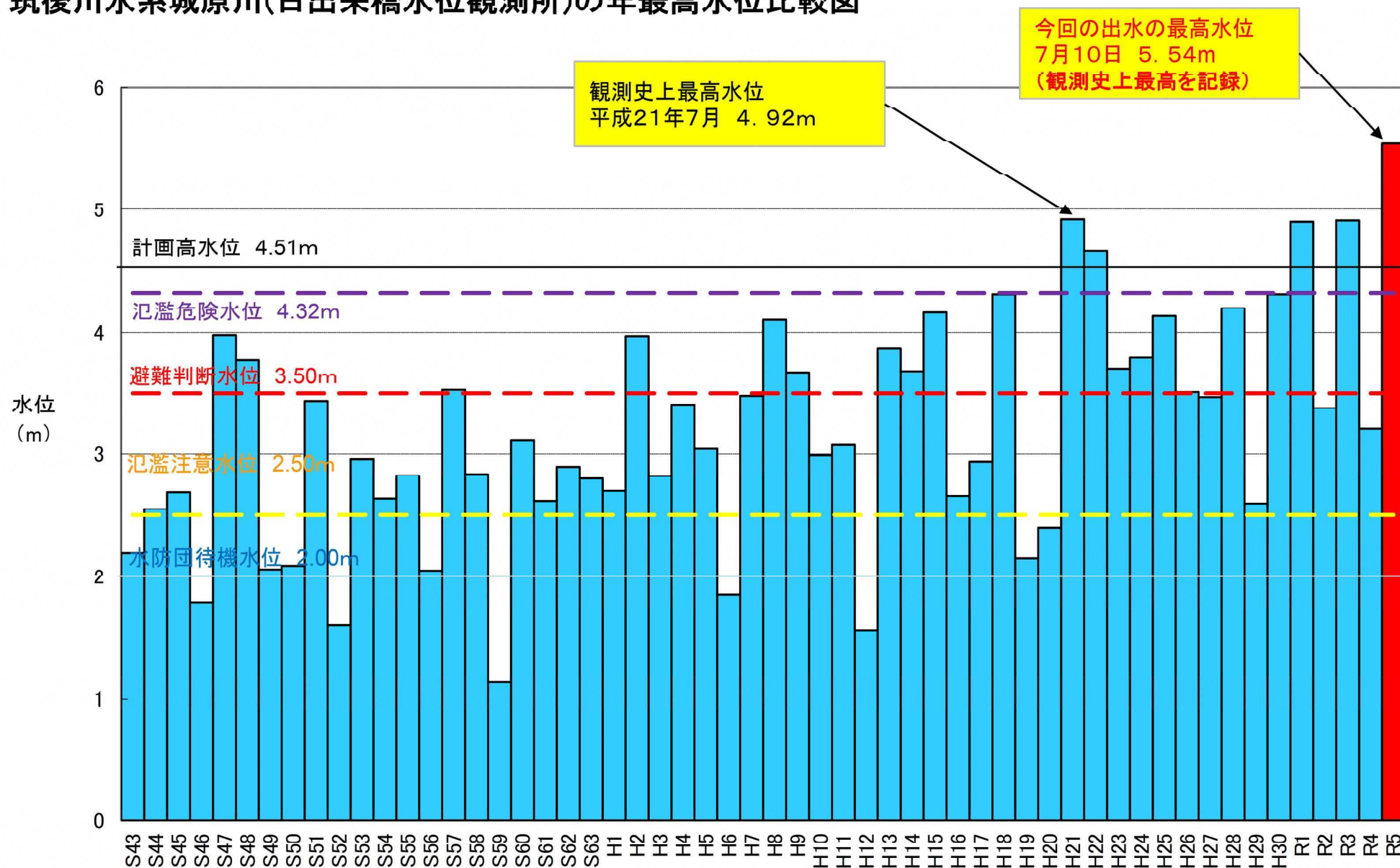
※気象庁発表時点

# 3. 降雨の概要（佐賀河川事務所管内）

○ 佐賀河川事務所管内では、宇渡、古湯、伊福雨量観測所において、近年の主な出水を超える雨量を観測しました。



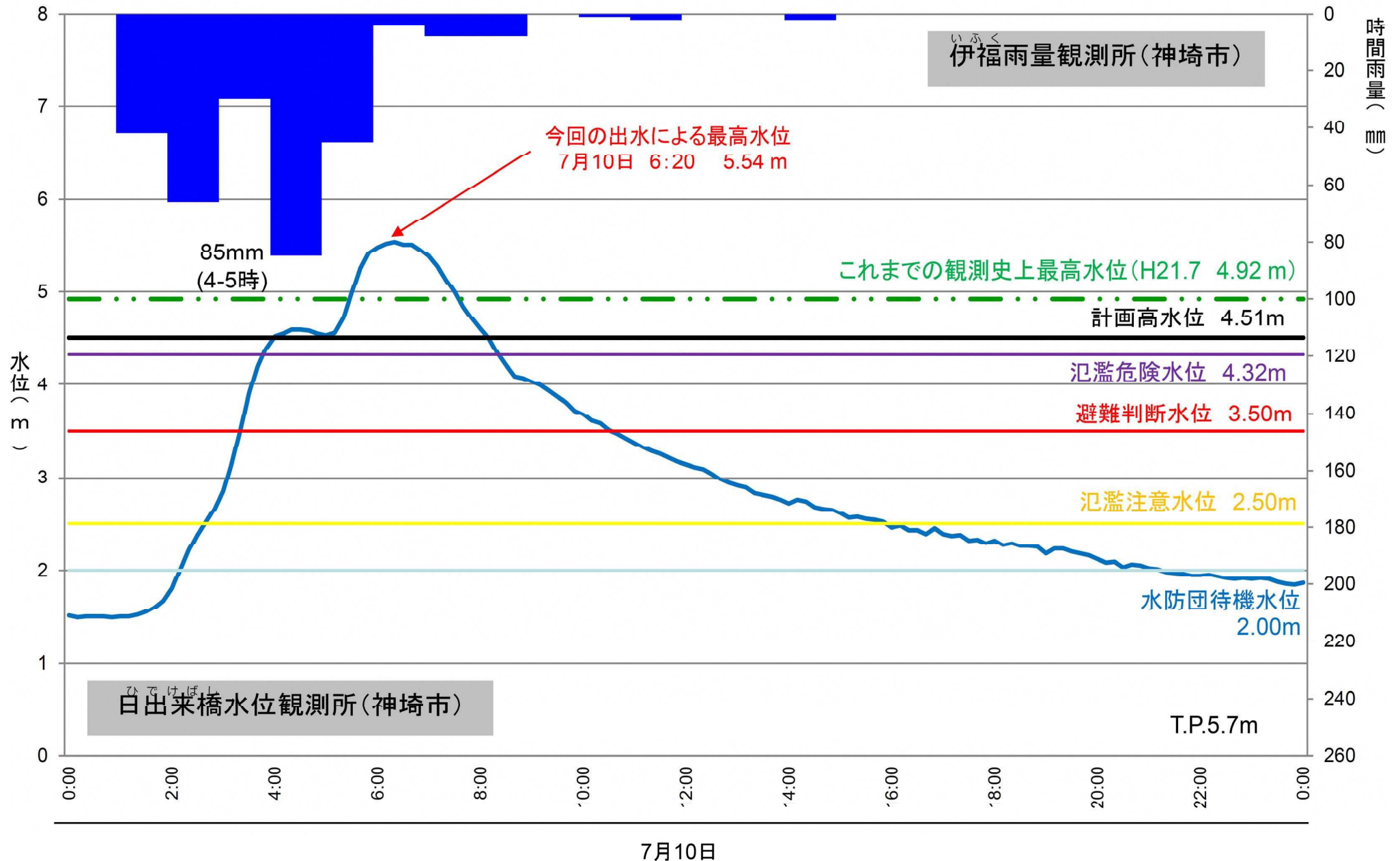
筑後川水系城原川(日出来橋水位観測所)の年最高水位比較図



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります



# 4. 水位の概要 (ひでけぼし 日出来橋水位観測所：筑後川水系城原川) ※国管理



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

○ 日出来橋水位観測所 (平常時と洪水時の比較)



日出来橋地点 (平常時)



日出来橋地点 (最高水位5.54m)  
【7/10 6時20分時点】

# 5. 野越しからの越水状況【城原川】

○ 城原川の日出来橋観測所より上流に位置する全ての野越し※（計9箇所）において、越水が発生。

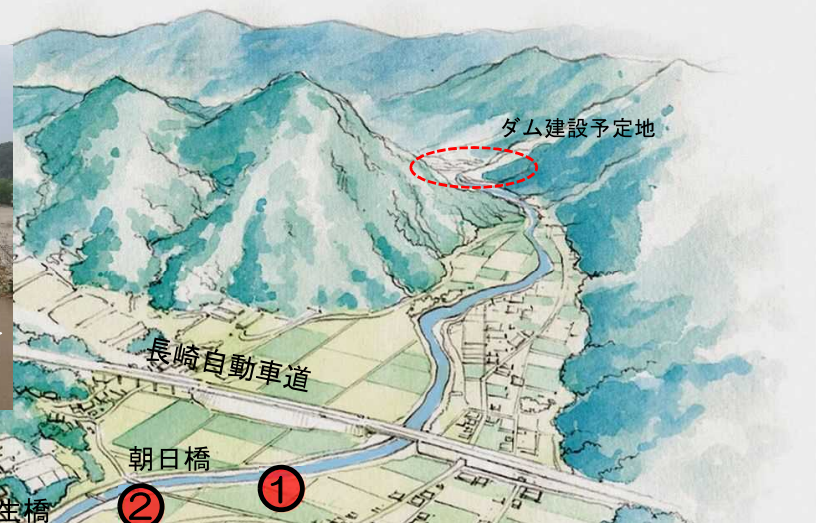
※野越しは、成富兵庫茂安が下流の町を水害から守るために築いた施設といわれており、洪水が一気に下流に流れないように上流の堤防の一部を低くして川の外に水をあふれさせるようにしたもの

- 野越し箇所
- 出水により越水した箇所  
※全9箇所において越水を確認(速報値)

9号野越しの越水状況  
(7/10 6時頃)



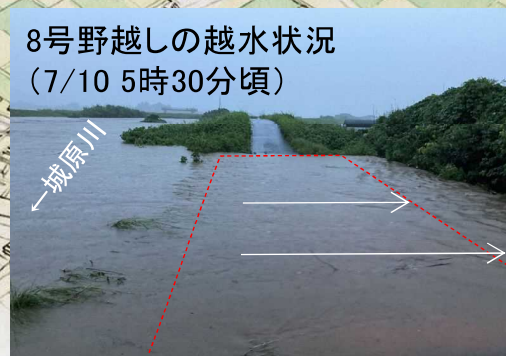
2号野越しの越水状況  
(7/10 6時頃)



3号野越しの越水状況  
(7/10 6時頃)



8号野越しの越水状況  
(7/10 5時30分頃)

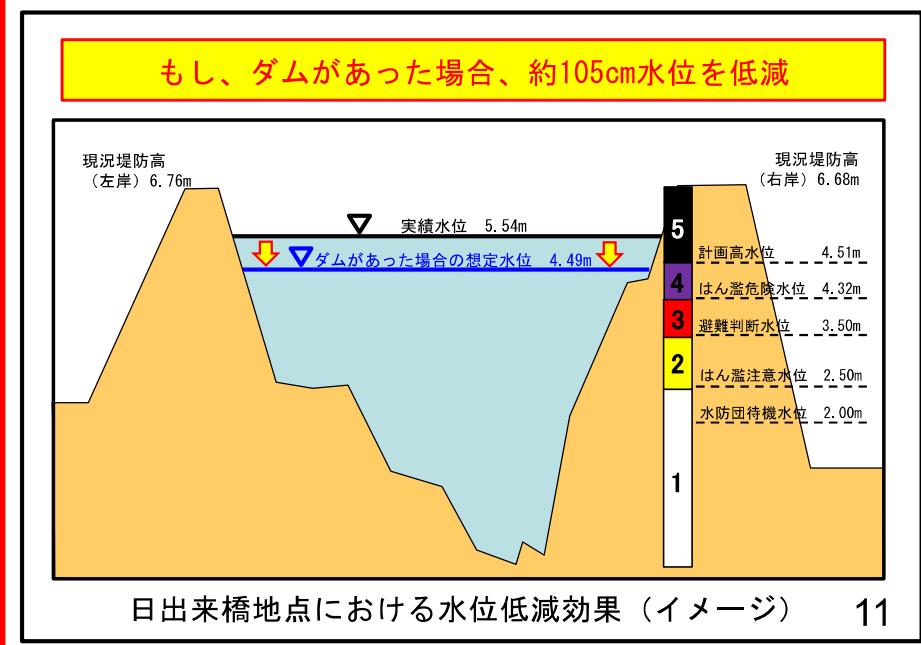
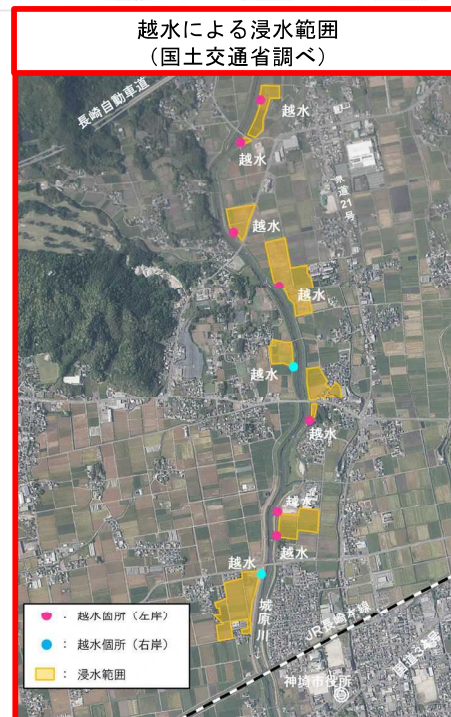
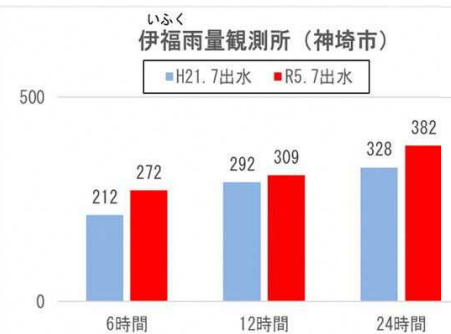
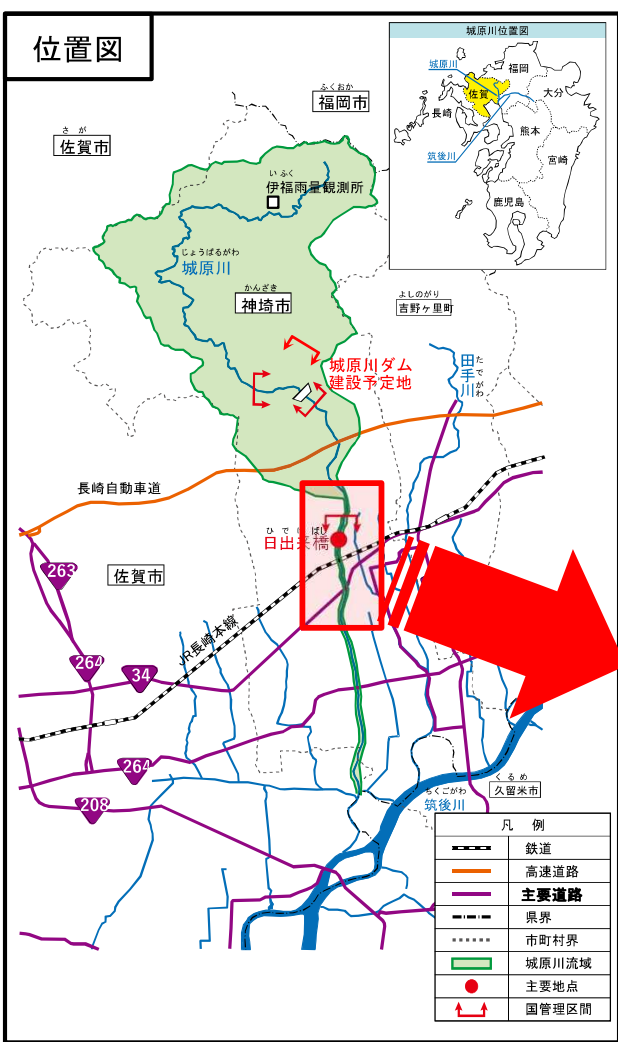


4号野越しの越水状況  
(7/10 6時頃)



# 6. 城原川ダムに期待される効果

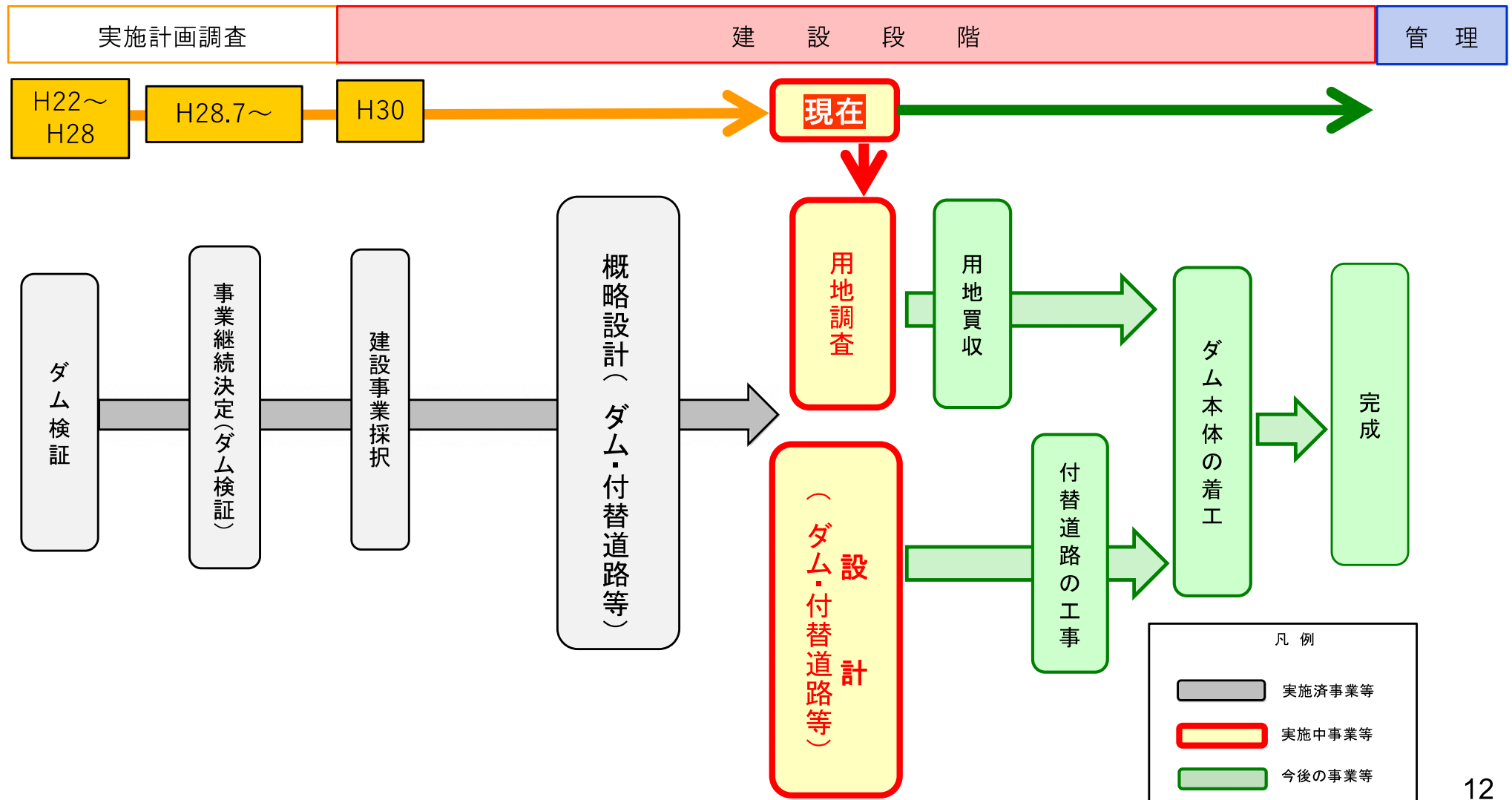
- 梅雨前線に伴う豪雨により、城原川ダム上流域(伊福雨量観測所)において、589mmの累加雨量を記録。(7月7日9時~10日15時)
- 観測史上最高水位を記録した平成21年7月豪雨の降雨と比較すると、6時間降雨で約1.3倍の272mmの降雨を記録。  
(7月10日1時~7時)
- この豪雨にて、神崎市街地上流に位置する日出来橋地点で観測史上最高水位の5.54mを観測し、計画高水位(4.51m)を1.03m超過するとともに、9箇所の越水浸水が発生。(最高水位:7月10日6時20分)
- 現在、建設を進めている城原川ダムが完成していた場合、日出来橋地点において約105cmの水位を低減し、計画高水位を下回るとともに、越水を回避していたと推測。



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 7. 城原川ダム事業の全体スケジュール

城原川ダム事業は、平成30年度から建設事業に移行し、現在、ダム建設に向けた用地調査、設計等を進めています。



# 8. 令和5年度の事業内容



- 定常調査
- ・水理水文調査
    - 雨量：2箇所（伊福、服巻）
    - 水位：1箇所（仁比山）
    - 流量：3箇所（倉谷、岩屋、仁比山）
    - 水質：3箇所（倉谷、岩屋、仁比山）
  - ・環境調査  
（流域内及び付替道路計画地周辺）

※調査数量等については変更の可能性があります。

# 9. 城原川ダム事業に関する広報

市報かんざき7月、9月号に城原川ダム関連情報を掲載。今後も随時掲載予定。

## 地域の人々の安全で快適な暮らしのために！ 城原川ダム建設事業の概要

お問い合わせ ダム対策課 ダム対策係 ☎37-0103 国土交通省 佐賀河川事務所 調査課 ☎41-8801

城原川ダムは、市内を流れる城原川を「安全で安心な川」にするため、城原川上流部に建設予定のダムです。「筑後川水系河川整備計画」に基づき、国により城原川の河川改修と併せて計画されている洪水調節（治水専用）を目的としています。

近年全国的に災害が激化していますが、城原川には、川底が周辺の地面の高さよりも高い位置にある、いわゆる「<sup>※1</sup>天井川」といわれる区間があり、城原川がひとたび決壊すれば流域住民の尊い生命と財産を奪う甚大な被害が発生することが危惧されます。



城原川周辺では、過去に甚大な洪水被害が発生しており、特に昭和28年6月の洪水では、死者4人、家屋の全壊14戸、床上浸水14,597戸、床下浸水14,920戸の被害をもたらしました。

また、近年においても、平成21年・令和3年等に洪水が発生するなど、常に大災害の不安を抱えています。このため、住民の安全で快適な暮らしを一日でも早く確保するためにも、城原川ダム建設と下流の河川改修による城原川流域の治水対策を一体的に行う必要があります。

<sup>※1</sup> 天井川…砂礫の堆積により河床（川底）が周辺の平地地よりも高くなった川。

### ●過去の城原川周辺での洪水被害

■昭和28年6月



佐賀県神埼郡城原川沿岸の民家流失  
神埼橋下流（出典：佐賀県庁資料）

■平成21年7月



<sup>※2</sup> 野越しからの越水状況

■令和3年8月



日出来橋付近の野越し地点

<sup>※2</sup> 野越し…江戸時代に成富兵庫次安によって築造され、堤防の一部を低くすることで洪水の水を川の外に溢れさせる施設

天井川である城原川は、ひとたび氾濫すると大きな被害が発生する可能性があるキャン！



### ●城原川ダムに期待される効果

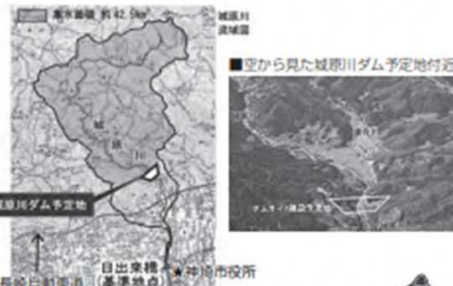
城原川ダムは、昭和28年6月と同程度の洪水（150年に一度発生する確率規模の洪水）に対して、基準地点である日出来橋地点において、想定される洪水の最大流量、毎秒690m<sup>3</sup>のうち、城原川ダムで毎秒360m<sup>3</sup>を調節して河川に流れる水の量を減らすことにより、河川氾濫など洪水被害を軽減させる効果が期待できます。

### ●ダム計画の概要

建設予定地 神埼町、脊振町  
目的 洪水調節（城原川の洪水被害軽減）  
ダムの種類 重力式コンクリートダム  
ダムの大きさなど



底の部分に穴が空いており、普段は水を貯めず、大雨時のみダム湖内に一時的に洪水を貯留します。



次回は、城原川ダムができたときの効果などを詳しく紹介するキャン！



## 地域の人々の安全で快適な暮らしのために！ 令和5年7月豪雨・城原川ダムができたときの効果について

お問い合わせ ダム対策課 ダム対策係 ☎37-0103 国土交通省 佐賀河川事務所 調査課 ☎41-8801

### 令和5年7月豪雨

令和5年7月7日～10日の大雨で、城原川上流域の伊福雨量観測所で589mmの累加雨量を記録しました。市役所近くの日出来橋水位観測所では既往最高水位5.54mを観測し、計画高水位（住民が避難を完了する段階の水位）を約4時間わたり超える洪水となりました。

城原川の下流に大量の水が一気に押し寄せることを防ぐため築いた<sup>※</sup>野越しでは、今回の洪水において、9カ所全てで越水を確認しました。



### ●城原川ダムができたときの効果

神埼市脊振町に建設予定の城原川ダムが、今回の大雨の際に仮にダムが完成していれば、ダムに水を貯めることで、日出来橋水位観測所地点の水位が約1m下がる試算となりました。この結果、野越しからの越水を回避できたと推測されます。

